

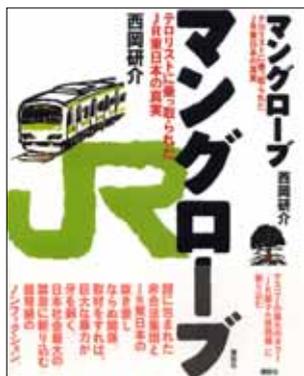
共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治



“テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

「マングローブ」ダイジェスト版 第5回

あの「週刊現代」連載記事が【マングローブ】という本になった。本紙は筆者（西岡研介氏）の了解を得て、『謎に包まれた非合法集団とJR東日本の抜き差しならぬ関係』をダイジェスト版として紹介することとした。

「妖怪」の別荘暮らし

松崎が所有する別荘はハワイだけではなく。実は、松崎は国内にも複数の別荘を所有していたのだ。沖縄県国頭郡今帰仁村(なきじんそん)。海風に晒され、やや古びてはいるものの、芝生の庭もついた二階建ての立派な洋館だ。玄関から浜辺までわずか15メートル、二階からは東シナ海が一望できるという最高のロケーションに建っている。登記簿などによると、この別荘の土地は、松崎が、東労組の会長に就任した約2ヵ月後の95年9月13日、松崎夫人の光子氏が購入。翌96年4月には、JR総連の関連法人「さつき企画」の前身である「さつき商事」が、二階建ての洋館を建てる。だが、なぜかこの別荘の土地と建物の所有権は2000年1月に、同じくJR総連関連の福利厚生団体「鉄道福祉事業協会」に移転されるのだ。...この「さつき企画」こそが、松崎が「一億円超」の資産を形成した“集金マシン”とでもいうべき装置なのだ。

（地元住民が語る）「松崎さんは季節を問わず、年に4、5回やってきました。奥さんと二人でやってくることもあれば、娘さんや息子さんと、家族四人でやってくることもありました。家族以外のお供の人を連れてくることもありました。...松崎さんは、私達には『レストランやブライダル関係の会社を経営している』と話していました。『最初は国家公務員をやっていて、そこから天下りして今の会社にいるのだ』という説明を聞いたことがあります。会社名は『さつき商事』と言っていました。...松崎さんはいつも奥さんと、比嘉賢さん（仮名）という男性を連れていました。比嘉さんは、松崎さんの運転手兼秘書のような存在で、松崎さんの会社の社員だと聞いていました。

ちなみにこの比嘉氏は大学卒業後、東労組に就職したいいわゆるプロパー書記で、現在も東労組の幹部を務めているのだが、なかなか興味深い過去を持っている。

「比嘉は日大の学生だった70年、革マル派の東京教育大（現・筑波大）の学生がリンチで殺された報復のため、革マル派学生が中核派学生を襲った『法政大報復リンチ事件』で逮捕されたことがある。そして東労組内部では現在も『松崎のボディガード』として知られている人物だ。もちろん『マングローブ』のメンバーでもある」（公安関係者）...

「釣りを始めて一年くらい経った98年ごろ、松崎さんは自分の船を買ったのです。250万円もする全長8メートルの立派な船です。それからは松崎さんの船で海に出るようになりました。また、ゴルフにも一緒に行きました。ただ松崎さんは、仕事の話だけは一切しませんでした。だから私もあえて聞かないようにしたんです。周りの人が彼のことを『会長、会長』と呼んでいたの、何かの会社の『会長』とばかり思っていました」（地元住民）

【マングローブ（講談社）P.95～P.98】